

デューイ『民主主義と教育』（1916年）の全体像

あなたの教育学をつくるために。問題に向き合うとき、横にいる相談相手の一人。加藤「[教育学の全体像](#)」

英文は、DEMOCRACY AND EDUCATION by John Dewey 1916

<https://www.gutenberg.org/files/852/852-h/852-h.htm>

段落番号をつけて、ノートにまとめていく。

構造的。

life ライフの連続・累積が大きな流れ。

人類：社会の系、集団の系、個人の系 ←生物として

哲学的に論じるときには、life →experience 経験

政治の話題は『民主主義と教育』には少ない（第7章五で少し国家論あり）。デモクラシーとは狭く政治の意味でなく人類のあり方。政治論は『公衆とその諸問題 The Public and its Problems』など。

デューイがたたかったものは分断と孤立。「概念」もバラバラになっていくのをつなぎ直した。unity

流れの意味 基準とゴール

民主的基準（社会をはかる尺度）（望ましい諸特徴）：第7章④上136ページ2行目

「意識的に共有している関心が、どれほど多く、また多様であるか、そして、他の種類の集団との相互作用が、どれほど充実し、自由であるか」

↓

望まれる変化第23章⑳ 下184ページ6行目～

「望まれる変化の意味を形式的表現ではっきり示すことは難しいことではない。それは、あらゆる人が、他の人々の生活を—そう生き甲斐のあるものとするような仕事に従事（be occupied）しており、したがって、人々を結びつけて一緒にする絆が—そうはっきりと現われる—人々の間の隔ての柵をとりこわす—ような、そうい

disposition 性向、傾向 tendency intellectual and social (moral) . . .

第4章「成長としての教育」

⑤ 生命のあるところには、すでに強く激しい活動力が存在している

成長は、その活動力がなすもの

⑧可塑性 自分の性向 disposition 心的傾向を保持しながら周囲に同調する

さらに深く . . . 経験から学ぶ能力 望ましい経験を持ち越す

徳を生み出す性向は、衝動か習慣か知性かーアリストテレス『ニコマコス倫理学』は「習慣」